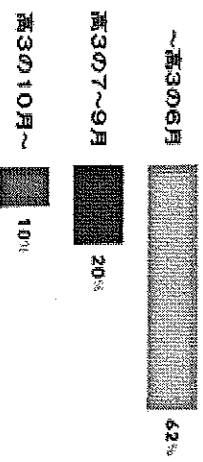




「夏を制する者は、受験を制す。」人生を制したい。 ～ 正念場の夏 ～

中国の陰陽五行説の考え方では、夏は「朱夏」。春は青(青春)、夏は朱(朱夏)、秋は白(白秋)、冬は黒(玄冬)です。夏の「朱夏」はまさに赤く燃えるイメージ。みなさんのような若者が、意欲に満ちたエネルギーをたぎらせ、完全燃焼をめざすところだと思います。物質面でも、完全燃焼は酸素の供給がとだええない、いわば受験突破のための燃料供給を絶やささないこと。もし、不完全燃焼に陥ってしまうと、物質面でも人生を考える上でも困難な状況に至ってしまうでしょう。「夏を制する者は、受験を制す。」という言葉があります。夏の40日間を人生の縮図として考えると、その縮図をどのように過ごし、成果を得るか。このことは、まさに人生を制することの如く同等と思われれます。夏季休業中は、お盆を中心に家族が集まったり、親戚・友人との交流も盛んにできる時期です。ぜひ、様々な助言を得ながら、成果を上げて欲しいと願っています。以下に、受験を制するための秘策・ポイントをご紹介します。なお、アンケート対象はすべて受験を得た受験生。合格を得るための秘策・ポイントをご紹介します。(当雪時代) 2012.4月号参考)

第1志望校の決定時期

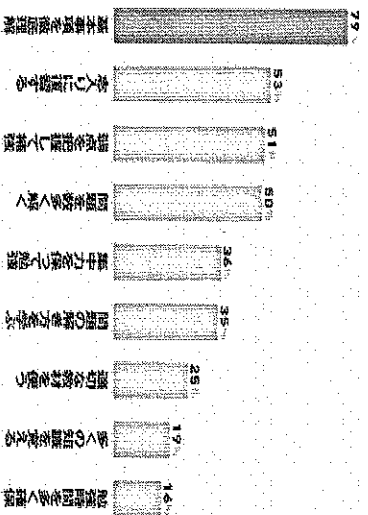


■ 受験校決定は早いほどよい ■
右図のとおり、合格者のほとんどは、今の時期にはすでに確固とした目標を細やかに定めています。学校では、「進路検討会」を細やかに進め、(7/19(木)～7/26(木)に実施の予定です。)ぜひとも、高校3年時の今、旗幟(旗印)を鮮明なものとし、揺らぐことなく前進したいのです。

浪人時

9%

■ 今すべきは、「基本」と「苦手克服」
左図のとおり、合格を得た人は、この時期基礎・基本事項の確認を徹底し、客観的にみる学力(教科学力)の充実を図っています。もし、面接・小論文・口頭試問等、付帯の受験科目を用いるにせよ、基礎・基本の無しには、向上は望まれません。場合も同様です。このことは、就職対策の場合も同様です。



■ 今、「がまん」すべきは「楽しみ」
第11号では、「すきま時間」なるもの、つまり、空き時間をうまく活用する「マンス」の使用も最小限にすることを、「がまん」しているようです。ただ、時間を限定した息抜きはむしろ必要。自分でコントロールすべきですね。

【思いがけない上昇曲線へ】

◆ 先般も述べたように、夏の休業中、バランス良く時間を支配したい。もちろん、1日頑張つて終わるのではなく、最低限、1日10時間以上の学習(作業ではなく、本来の意味で自身でじっくり考え、突き止めていくという学習)が必要でしょう。おそらく、みなさんにとって「非日常」の世界かもしれません。しかしながら、現れるのは少なくとも3か月後。10月ごろ、ひたひたと成績が上昇するのです。そして、上昇しはじめたら思いがけない上昇曲線を示すことがほとんどです。体調改善でも同様。改善するまでの時間は長いかもしれませんが、一旦改善がみられると、おもしろいように成果が上がる。維持しつつ上昇するという結果を伴うはず。

